

## ペイントシティーコム 御中

2005年2月14日  
澤政興業 株式会社  
担当：日置

貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ご用命の「化学物質等安全データシート」(MSDS)をお送りいたします。御査収の程、よろしくお願いいたします。

発行日 2005年2月14日  
発行者 日本ペイント株式会社  
日本ペイント販売株式会社  
日本ペイントマリン株式会社  
ニッペホームプロダクツ株式会社  
送付者 澤政興業 株式会社  
製品名 ニッペ 水性 ケンエース 白  
整理番号 VEA-001-0013-03



# 化学物質等安全データシート

## 1 化学物質等及び会社情報

- [ 化学物質等の名称 ( 製品名 ) ] ニッペ 水性 ケンエース 白
- [ 会社名 ] 日本ペイント株式会社
- [ 住所 ] 大阪市北区大淀北 2 - 1 - 2
- [ 管理部門 ] R & D 本部 製品環境部
- [ 作成部門 ] 日本ペイント販売株式会社 建設技術部
  - 電話番号 072-839-9066
  - ファクシミリ番号 072-839-1788
- [ 連絡先 ] 日本ペイント販売株式会社 建設技術部
  - 担当者 若林 英樹
  - 電話番号 072-839-9066
  - ファクシミリ番号 072-839-1788

## 2 組成、成分情報

【 単一化合物・混合物の区分及び毒物・劇物の区分 】

- 混合物

【 化学物質等の化学特性 / 危険有害成分 】

化学名	CAS No.	濃度% 濃度範囲%	備考				
			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
酸化チタン	13463-67-7	25 ~ 30	-	-	-	192	-
クリストバライト	14464-46-1	1 ~ 5	-	-	-	311	-
非晶質シリカ	61790-53-2	1 ~ 5	-	-	-	311	-
含水ケイ酸アルミニウム ( カオリン )	1332-58-7	10 ~ 15	-	-	-	-	-
トリプロピレングリコール n-ブチルエーテル	55934-93-5	1 ~ 5	-	-	-	-	-

- 【注1】 (1)は PRTR 法施行令別表第一の特定第1種指定化学物質に該当する「号の番号」  
 (2)は PRTR 法施行令別表第一の第1種該当物質(ただし(1)を除く)に該当する「号の番号」  
 (3)は PRTR 法施行令別表第二の第2種指定化学物質に該当する「号の番号」  
 (4)は安衛法 57 条の2にかかわる施行令別表第9の通知対象物に該当する「号の番号」  
 (5)は企業秘欄

【注2】 化合物の異性体において PRTR 法で一部の異性体を号の名称と定めている場合(Aとする)と安衛法では異性体全体の総称で号の名称を定めている場合(Bとする)、BはAを除いた濃度で示す。

- 【注3】 濃度%、濃度範囲%  
 (1)PRTR 法該当物質は濃度%で、安衛法 57 条の2該当物質は濃度範囲%で示す。  
 (2)PRTR 法該当の金属化合物では、含有量%に金属換算係数を乗じ金属量として濃度%表示を行う。この場合では、化合物としての濃度範囲%と重複して表示されている。

## 3 危険有害性の要約

【 最重要危険有害性及び影響 / 特定の危険有害性 】

特に危険有害性の情報を有していない

【 化学物質等の分類 】

## 4 応急措置

- [ 吸入した場合 ]
  - 蒸気又は揮発成分を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
- [ 皮膚に付着した場合 ]
  - 付着物を布にて素早く拭き取る。
  - 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
  - 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
- [ 目に入った場合 ]
  - 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
  - 出来るだけ速く医師の診断を受けること。
- [ 飲み込んだ場合 ]
  - 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
  - 嘔吐物は飲みこませないこと。
  - 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

## 5 火災時の措置

- [ 適切な消火剤 ] ( ) 水
  - ( ) 炭酸ガス
  - ( ) 粉末
  - ( ) 泡
  - ( ) 乾燥砂
  - ( ) その他
- [ 消火方法 ]
  - このもの自体に可燃性なし。

## 6 漏出時の措置

- 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。
- スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。  
水での洗浄なども、河川等へ排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

## 7 取扱い及び保管上の注意

### 【取扱い】

- 換気の良い場所で取り扱う。
- 容器はその都度密栓する。
- 塗装具の洗浄水は産業廃棄物として処理し、川又は排水口に流さないこと。

### 【保管】

- 日光の直射を避ける。
- 通風のよいところに保管する。

## 8 暴露防止及び保護措置

- [ 許容濃度 ]

化学名	管理濃度 (ppm)	管理濃度 (mg/m <sup>3</sup> )	ACGIH(ppm)	ACGIH(mg/m <sup>3</sup> )
含水ケイ酸アルミニウム (カオリン)	-	-	-	2
酸化チタン	-	-	-	10
クリストバライト	-	-	-	0.05
非晶質シリカ	-	-	-	10

### 【保護具】

- [ 呼吸器の保護具 ]
  - 必要に応じて蒸気、ミスト等の吸入を防ぐ保護マスクを着用する。
- [ 手の保護具 ]
  - 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。特にケトン系、エステル系の強溶剤主体の製品を扱う場合、ポリウレタン材質、天然ゴム材質の耐溶剤手袋を着用するか、MSDS記載成分に耐える適切な手袋をカタログより選び着用する。
- [ 目の保護具 ]
  - 取り扱いには保護メガネを着用すること。
- [ 皮膚及び身体の保護具 ]
  - 必要に応じて皮膚が直接暴露されないような保護具を着用する。

## 9 物理及び化学的性質

### 【化学物質等の外観】

- [ 物理的状態 ] ( ) 気体  
( ) 液体  
( ) 固体
- [ 色 ] 白色極微濁
- [ 臭い ] 僅かなアンモニア臭
- [ pH 及びその濃度 ] 7.5 ( 製品原液 )
- [ 沸点 ] 100
- [ 引火点 ] なし
- [ 密度 ] 1.41/20

## 10 安定性及び反応性

### 【安定性】

- 通常の温度、圧力の条件下では安定である。

### 【特定条件下で生じる危険な反応】

- [ 避けるべき条件 ]
  - 40 以上に加温。
- [ 危険有害な分解生成物 ]
  - 情報を有していない。

## 11 有害性情報

【急性毒性（データの試験動物はラット）】

化学名	LD50（経皮） mg/kg	LC50（吸入） mg/ℓ/1H	LD50（経口） mg/kg
含水ケイ酸アルミニウム（カオリン）	—	—	—
酸化チタン	—	—	—
クリストバライト	—	—	—
トリプロピレングリコール n-ブチルエーテル	2001	—	2600
非晶質シリカ	—	—	—

【注】 —は情報を有していないことを示す。

【局所効果】

- 情報を有していない

## 12 環境影響情報

- 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

## 13 廃棄上の注意

- 廃棄物はリサイクル等によりできるだけ排出量を削減することが望ましいが、止むをえない場合は法にもとづき処理する。
- 化学物質を含む製品、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- 廃棄物等を焼却処理する場合には、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン特別措置法及び都道府県条例にもとづき処置する。
- 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- 廃棄物は、都道府県条例にもとづいて処理すること。
- 使用済みの容器は、一定の場所を定めて集積する。

## 14 輸送上の注意

【輸送に関する規制及び分類に関する情報】

- [陸上]
  - 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- [海上]
  - 船舶安全法に定めるところに従うこと。
- [航空]
  - 航空法に定めるところに従うこと。
- [輸送の特定の安全対策及び条件]
  - 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
  - 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

## 15 適用法令

- 使用において、都道府県条例に該当の場合、条例にもとづき取り扱うこと。
- 労働安全衛生法：第57条の2通知対象物

## 16 その他の情報

### 【引用文献】

- 日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」
- オーム社：溶剤ポケットブック危険防災救急便覧
- 国際化学物質安全カード（ I C S C ）
- 丸善：ザックス有害物質データブック
- 中央労働災害防止協会：化学物質の危険・有害便覧
- R T E C S : Resistry of Toxic Effects of Chemical Substances
- A C G I H : Threshold Limit for Chemical Substances and Physical Agents

### 注意

記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象とするものですので、指定された用途、用法以外には使用しないでください。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報にもとづいて作成しておりますが、今後法律、規則等の改正、新たな知見及び試験等により改正することがあります。

なお、この「化学物質等安全データシート」は日本国内においてのみ適用するものとします。